



感染症検査 (猫)

所要日数は、土日祝は含みません

No	検査項目	材料 検体量	検査法	参照 ページ	所要 日数	備考
113	猫コロナウイルス (FCoV) 遺伝子	胸腹水・脳脊髄液 0.3mL EDTA全血 0.5mL	RT-PCR	42	4~6	冷蔵
114	猫コロナウイルス 抗体	血清・ヘパリン血漿 胸腹水・脳脊髄液 0.2mL	ELISA	//	2~4	冷蔵
115	AGP (α 1酸性糖タンパク) (FIP診断のための検査)	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	SRID	//	3~5	冷蔵
116	FCoV遺伝子+AGP			//	4~6	冷蔵
117	FCoV抗体+AGP	血清・ヘパリン血漿 0.2mL		//	3~5	冷蔵
118	猫免疫不全ウイルス (FIV) 遺伝子	EDTA全血 0.4mL	PCR	46	4~6	冷蔵
119	猫免疫不全ウイルス 抗体	血清・ヘパリン血漿・胸腹水 0.2mL	IP-C	//	2~4	冷蔵
120	猫白血病ウイルス (FeLV) 抗原	血清・ヘパリン血漿・胸腹水 0.2mL	ELISA	46	2~4	冷蔵
121	猫白血病ウイルス 遺伝子	EDTA全血・骨髓液など 0.4mL	PCR	//	4~6	冷蔵
122	猫パルボウイルス (FPV) 遺伝子	糞便 適量 EDTA全血・血清・ヘパリン血漿 0.4mL	PCR	47	3~5	冷蔵
123	猫パルボウイルス IgM抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	2ME-HI	//	3~5	冷蔵
124	猫パルボウイルス HI抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	HI	//	3~5	冷蔵
125	猫カリシウイルス (FCV) 遺伝子	口腔・鼻粘膜・結膜 スワブ 適量	RT-PCR	47	4~6	冷蔵
126	猫ヘルペスウイルス1型 (FHV-1) 遺伝子	口腔・鼻粘膜・結膜 スワブ 適量	PCR	47	3~5	冷蔵
127	猫クラミジア (<i>Chlamydophila felis</i>) 遺伝子	口腔・鼻粘膜・結膜 スワブ 適量	PCR	47	3~5	冷蔵
128	猫ヘモプラズマ 遺伝子	EDTA全血 0.4mL	PCR	47	3~5	冷蔵
129	トキソプラズマ (<i>Toxoplasma gondii</i>) 抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	ELISA		3~5	冷蔵

●遺伝子検査材料は遺伝子専用として採材してください。遺伝子以外の項目と重複している場合は、必ず遺伝子用に材料を分けてください。



猫感染症セット検査

No	検査項目	材料 検体量	検査法	参照 ページ	所要 日数	備考
130	猫ウイルス健康セット FIV抗体 FeLV抗原 FCoV抗体(定性)	血清・ヘパリン血漿 0.2mL			4~6	冷蔵
131	猫ウイルス健康+トキソセット FIV抗体 FeLV抗原 FCoV抗体(定性) トキソプラズマ抗体	血清・ヘパリン血漿 0.3mL			6~8	冷蔵
132	猫3種ウイルスセット FIV抗体 FeLV抗原 FCoV抗体(定量)	血清・ヘパリン血漿 0.2mL			2~4	冷蔵
133	猫3種ウイルス+トキソセット FIV抗体 FeLV抗原 FCoV抗体(定量) トキソプラズマ抗体	血清・ヘパリン血漿 0.3mL			3~5	冷蔵
134	FHV-1+猫クラミジア	鼻粘膜・結膜 スワブ 適量			3~5	冷蔵
135	FCV+FHV-1+猫クラミジア	口腔・鼻粘膜・結膜 スワブ 適量			4~6	冷蔵
136	キャットフル(猫上気道感染症)セット FCV FHV-1 猫クラミジア(<i>Chlamydophila felis</i>) マイコプラズマ(<i>Mycoplasma felis</i>) ボルデテラ(<i>Bordetella bronchiseptica</i>)	口腔・鼻粘膜・結膜 スワブ 適量	RT-PCR PCR PCR PCR PCR		4~6	冷蔵





猫ワクチンセット検査 (ワクチン効果の判定のためのセット検査です)

No	検査項目	材料 検体量	検査法	参照 ページ	所要 日数	備考
137	Vセット FCV抗体 FHV-1抗体 FPV抗体	血清・ヘパリン血漿 0.2mL	IP IP HI	下記 参照	4~6	冷蔵

- **感染診断には利用できません。**
- **FCVとFHV-1ワクチンは基本的に発症を軽減するもので(相対的防御)**、十分なワクチン効果を得られていても感染により症状を呈する場合があります。
- 結果の解釈は一般的なものです。特にFCV、FHV-1、FPVでワクチン接種が必要と考えられる場合はワクチン会社にお問い合わせ、またはワクチン会社発行の技術資料を参照の上ご判断ください。

** 結果の解釈 **

4ヶ月齢以上

FCV	FHV-1	FPV	コメント
400倍以下	200倍以下	10倍未満	ワクチン効果が不十分です。
800~1600倍	400~800倍	10~20倍	現時点でワクチン効果が期待できる抗体価ですが、長期間の効果を期待するにはもう少し高い抗体価が必要です。1年以内にワクチンを追加接種するか、抗体の再検査を実施されることをお勧めいたします。
3200倍以上	1600倍以上	40倍以上	長期間の持続が期待できる十分なワクチン効果が得られています。

3ヶ月齢

FCV	FHV-1	FPV	コメント
400倍以下	200倍以下	10倍未満	ワクチン効果が不十分です。
800~1600倍	400~800倍	10~20倍	移行抗体の可能性ががあります。可能な例についてはワクチンの再接種をお勧めします。
3200~6400倍	1600倍	40倍	ワクチン効果十分と判定できる抗体価ですが、移行抗体の可能性もあるので1ヶ月後の再検査が必要です(移行抗体は1/4~1/16に低下します)。
12800倍以上	3200倍以上	80倍以上	十分なワクチン効果が得られています。

2ヶ月齢

FCV	FHV-1	FPV	コメント
400倍以下	200倍以下	10倍未満	ワクチン効果が不十分です。
800~1600倍	400~800倍	10~20倍	移行抗体の可能性ががあります。可能な例についてはワクチンの再接種をお勧めします。
3200~25600倍	1600~6400倍	40~160倍	ワクチン効果十分と判定できる抗体価ですが、移行抗体の可能性もあるので1ヶ月後の再検査が必要です(移行抗体は1/4~1/16に低下します)。
51200倍以上	12800倍以上	320倍以上	十分なワクチン効果が得られています。

FCV、FHV-1、FPVの各月齢における移行抗体との区別にはワクチン接種済みの健康猫100頭の抗体価を測定し、そこで得られた最高の値をもとに移行抗体の半減期から算出したデータを利用しています。

- ごくまれに基準値を上回る血中抗体価であっても、ストレスや、ステロイド剤や免疫抑制剤の服用により防御が十分働かないケースがあります。また、もし将来的に流行ウイルスが変異することがあれば、既存のワクチンでは十分な予防効果が期待できなくなる可能性も否定できません。
- 弊社がご提供している基準値は、過去に研究者たちが提唱した値を参考にして最も妥当と考えられる値に設定されております。また、本基準値は弊社の検査系に対するものであり、他社の検査結果には適用することができませんのでご注意ください。